

建設経済分科会 会議記録

- 1 期 日 令和4年10月3日(月)
午前10時35分 開会
午前11時01分 閉会
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 出席委員 委員長 清水 寛
副委員長 竹中 理
委員 荒木慎太郎、石田 清、
須山 泰一、西田 真、
森垣 康平、米田 達也
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 (別紙のとおり)
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主査 伊藤 八千代
- 8 会議に付した事件 (別紙のとおり)

建設経済分科会長 清水 寛

建設経済分科会 次第

日時：2022年10月3日(月) 本会議休憩中
場所：第3委員会室

1 開 会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分担案件の審査について

ア 分科会審査

(ア) 第95号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算(第7号)

(2) 意見・要望のまとめについて

ア 分科会意見・要望のまとめ

4 その他

5 閉 会

建設経済委員会名簿(10/3)

=10/3建設経済委員会出席不要

【委員】

職名	氏名
委員長	清水 寛
副委員長	竹中 理
委員	荒木 慎太郎
委員	石田 清
委員	須山 泰一
委員	西田 真
委員	森垣 康平
委員	米田 達也

8名

【当局】

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
環境経済部長	坂本 成彦	環境経済課長	富岡 隆		
		大交流課長	宮垣 均	大交流課参事	島津 太一
				大交流課参事	瀧本 文代
コウノトリ共生部長	川端 啓介	農林水産課長	柳沢 和男	農林水産課参事	村田 一紀
				農林水産課参事	山本 隆之
		コウノトリ共生課長	宮下 泰尚	コウノトリ共生課参事	宮田 裕史
		地籍調査課長	依田 隆司	地籍調査課参事	上阪 善晴
都市整備部長	澤田 秀夫	建設課長	富森 靖彦	建設課参事	北村 省二
		都市整備課長	久田 涉		
		建築住宅課長	山本 正明	建築住宅課参事	谷垣 秀人
城崎振興局長	植田 教夫	地域振興課参事	橋本 郁夫	城崎温泉課長	山田 和彦
竹野振興局長	石田 敦史	地域振興課長	平尾 喜彦		
日高振興局長	小谷 士郎	地域振興課参事	吉田 政明	地域振興課参事	上野 和則
出石振興局長	村上 忠夫	地域振興課参事	川崎 隆		
但東振興局長	大岸 和義	地域振興課参事	小川 一昭		
上下水道部長	河本 行正	水道課長	谷垣 康広	水道課参事	井垣 敬司
		下水道課長	榎本 啓一	下水道課参事	堀田 政司
農業委員会事務局		農業委員会事務局長	安藤 洋一		

2名

【議会事務局】

職名	氏名
主査	伊藤八千代

1名

午前10時35分開会

○分科会長（清水 寛） それでは、ただいまから建設経済分科会を開会いたします。

これより協議事項、分担案件の審査に入ります。

本日の分科会は、本会議、また予算決算委員会を休憩して開催しておりますので、委員の皆さん、当局の皆さん、質疑、答弁に当たりましては、くれぐれも要点を押さえて簡潔明瞭に行うなど、スムーズな議事進行に格別のご協力をお願いいたします。

それでは、第95号議案、令和4年度豊岡市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

当局の説明は、所管事項に係る部分について、歳出、歳入の順に説明をお願いします。

それでは、環境経済課、富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） では、早速説明させていただきます。

21ページをご覧ください。真ん中の枠のようになります。

○分科会長（清水 寛） はい、オーケーです。

○環境経済課長（富岡 隆） 真ん中の枠の商工振興事業費です。趣旨説明等につきましては、先ほど本議会で説明させてもらったとおりですので、割愛させていただきます。

予算案の内容のほうですが、印刷製本費、チラシ等につきまして30万8,000円の印刷費です。次に、通信運搬費ですが、今度の商品券につきましては、それぞれ郵送で簡易書留で各世帯にお送りしたいなというふうに思っておりまして、その金額が1,399万4,000円となります。業務委託料につきましては4億569万8,000円でございます。歳出は以上でございます。

歳入です。17ページをご覧ください。一番上の枠のところの3つ目になります。地方創生臨時交付金、この金額のうち2億6,117万4,000円が当該事業のほうで充当されます。説明は以上となります。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

石田委員。

○委員（石田 清） 何点か、2点ほどになると思いますけども、まず、こうやって家計応援、消費者応援という形が続くんですけども、最終的に、家計の負担が年間どれぐらいになると想定の上でこうやって積み上げられているのか、ちょっとお聞きします。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 今のご指摘のほうの見通しと申しますか、実際は各家庭によって状況違いますので、申し訳ないですけども、そういうことついでにやっていると申すのではなく、物価高になってきていて、全体として体感のインフレが高まっているんだらうということもあまして、こういう施策を打っておりますので、家計のほうはこれだけ今後、物価高によって支出が増えて、それを、その分の何%を支出するみたいな、そういうモデルの計算をしてやっていると申す状況ではありませんので、申し訳ないですけども、ご理解いただきたいと思っております。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） それから、これ、財政のほうじゃないと分からないんでしょうけども、このプラスアルファの分で2億6,100万円ほどですか、臨時交付金が充てられております。これ、9月の6日だったか、9日だったか、増額分、保留分の2,000億円を合わせて、4,000億円と、その部分の臨時交付金ということでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） はい、そのとおりでございます。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

石田委員。

○委員（石田 清） 何か4月の8,000億円に対して6,000億円と申したら、割合的に合っています。これ、いやいや、結局、追加であった分の全額ということなんかということですけどね。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 全国で6,000億

円の中で、豊岡市のほうにつきましては、17ページの金額、一番上の上から3つ目、2億6,435万8,000円が豊岡市に交付される全額というふうに聞いております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） 先ほど、市長の説明の中にあつたんですけども、事業者への支援というよりも、こちらを優先させて、事業者については、その後の動向を見たいと、どちらから攻めていっても同じことなんですけどね、それを先送りにされたという事情っていうのは、もう少し詳しくお願いできませんか。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 予算要求をさせていただいて、査定を通じて結果をいただいているところでございますので、具体的に財政部局の中で、詳細にどのようになっているところは結論だけいただいているんですけども、まず、国が11月以降の予算の中で、どのような支援を中小企業者のほうにやってくるかということを見極めたいというのが1点と、それから、やっぱり今回の財源は年度内で完了していくということが原則とあるようですので、中小企業者のほうの支援につきまして、何か事業に対して支援を行っていくということになりますと、事業実施期間が少し短くなるということもありまして、タイミングのことも含めて、ちょっともう少し検討したいというようなことで、今回は、今回のこの商品券のほうにつきましては、10月からさらに値上がりがあって、市民の皆様も待たなしの感覚だろうということで、こちらのほう、速やかに実施していきたいと。

速やかに実施していくに当たりまして、生活者支援という、そういう目的の事業ではありますけども、現在、環境経済課のほうでやっております商品券のスキームを使ってやると、早く配れるのではないかと。商品券のほうを生活者支援ということで新たに立ち上げると、やっぱり年内の交付は難しいのかなというところもありまして、そういった速やかに実施するということの観点も含めて、この事業のほうの

予算が措置されたというふうに聞いております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） これは質問じゃないんですけども、家計のほうはそれぞれ負担が見えてくるんですけども、事業者のほうは、今、この前、質問するその日に9.0という数字が出ましたと、8月当時。という中で、まだ消費者のところまで行ってない負担を抱えているというのが実情です。その中で、逆に、じゃあ最終的に消費者のところへ流れるんだという以前の話で、もう事業者のほうがあつあつぶしてあるケースも多分あると思うんです。潰してしまつてはどうにもなりませんので、そこら辺の措置も考えていただきたいなというふうに思います。これは意見です。ありがとうございます。

○分科会長（清水 寛） ほかは。

須山委員。

○委員（須山 泰一） この10月、物すごいいろいろなものが値上がりするという中で、本当に必要な支援だと思います。

お聞きしたいのは、確認ですけど、プレミアム商品券は郵便局で1万円出して買うという形でしたけど、今回は商品券を各家庭に配布されるもんだと認識しています。それで間違いないでしょうか。

そして、紙でしょうか、それからカードみたいな自治体もあると聞いてますけど、その辺、お伺いします。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） ご質問ありましたように、今回は各家庭のほうに郵送で、確実に届くように簡易書留でお送りしたいなと思っております。

それから、商品券のほうにつきましては、全ての方に使いやすいように、今回も紙でと考えております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 分かりました。

あれですね、資料で議案資料のほうに、そのプレミアム商品券、その画像もありますね、すみません。そうですね。

多くの意見ではないかもしれませんが、言われる中には、商品券を買うんでなくて、配ってもらったなら、逆に豊岡市内の事業者とかね、事業者を使えるところを絞ってもらっても使うでというような声もあったわけですけど、それが多数かどうか分かりませんが、そういう声もあったことをお伝えしときます。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 何点かちょっと確認ですけど、聞かせてください。

今、須山委員が言われたプレミアムの豊岡プラスなんですけど、この事務費2,900万円の内訳、印刷代、換金はどこでして、どれぐらいの金額か。そして、郵送なんですけど、簡易書留で間違いないように送るということですけど、その単価当たり、それぞれ金額の提示をまずお願いします。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 事務費のほうの内容ですけれども、チラシ等の印刷30万8,000円につきましては、市のほうで原稿を作って、市の印刷をかけていきたいというふうに考えていますので、直営で考えております。

それから、郵便局の郵送料につきましては、郵便局の普通の郵送料になりまして、簡易書留となりますので、大体420円ぐらい、1封筒当たり見込んでおります。

それから、2,900万円のうち、あとは商工会議所と商工会のほうに事務のほうの委託をしていくということで考えております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 商工会議所と商工会、それぞれ何ぼですか、金額の提示をお願いします。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 金融機関とのやり取り、それから商品券の印刷等につきましては、商工会議所のほうにお願いをしますので、ほとんど商工会議所になります。

金額につきましては、商工会議所への委託が1,424万8,000円、約1,400万円ほど。商

工会は事務費だけになりますので、45万円ぐらいの委託を考えております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 了解しました。

あと、4ページ、そっちはないんか。住民税非課税世帯の価格高騰緊急支援給付金の支給の分なんですけど、全体事業費が4億5,512万円、そのうちの給付金が4億4,000万円と事務費が1,512万円、この事務費の内訳、どういうものかちょっと教えていただきたいと思います。

○分科会長（清水 寛） 委員会が違う、委員会が違いますので。

○委員（西田 真） あっ、ちゃうんか、ごめんなさい。全部持ってましたんで、すみません。以上です。

○分科会長（清水 寛） いいですか。

ほかございますか。

じゃあ、竹中委員。

○委員（竹中 理） 1点だけ、これは期限切れたときは、換金みたいな感じはどうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 期限のほうにつきましては、現在の商品券と同じように、使える期限は来年の1月末までとさせていただきたいと思っております。それまでに買われてない方につきましては、券自体が無効ということで、換金のほうはさせていただかないということにしております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 登録店舗は、まだこれ、増えることはできるんですか、まだ応募できるんですか、ちょっと。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 登録店舗は随時募集しておりますし、今はインターネットのほうで申込みができるようになっておりますので、日々少しずつ増えてきている状況であります。9月21日現在では865店舗となっております。以上です。

○委員（須山 泰一） はい、分かりました。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） ちょっと間違いです、すみません。先ほどの登録店舗、9月27日現在で866店舗になっております。以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかございますか。

○委員（西田 真） 委員長、1点だけ。

○分科会長（清水 寛） はい、西田委員。

○委員（西田 真） すみません、このPREMIUM豊岡+（プラス）なんですけど、以前のプレミアム商品券とか、その前にもあったんですけど、どうしても使い切らない人、忘れておるとか、そういうことも後で私の知り合いからも、何とかならんか言われたようなこともあるんですが、それはもう期限が決まるとるんですから、それを期限を過ぎたら、もう何ともなりませんよということを申し上げておるんですけど、その周知を、期限いつまでですよという周知を、ちょっとその辺をいろんなことでやっていただきたい。特に残り1か月ぐらい切ったら、さらに周知、その辺をよろしくお願ひしたいと思います。全て使い切っていただくような、そういう配慮もよろしくお願ひしときます。どうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） そのお話につきましても、前回の委員会のときにもいただきましたので、早速事務方のほうには指示しております、適切なタイミングで、市民から怒られるぐらい周知しているかなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。以上です。

○委員（西田 真） よろしくお願ひします。以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかございますか。
森垣委員。

○委員（森垣 康平） 1つ気になるというか、教えてもらいたいんですけど、印刷製本費30万円、これ物すごく安いんですけど、偽造とかそういったようなセキュリティ的なことはどこまでお考えでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） すみません、ちょっ

と説明が分かりにくかったようで、申し訳ございません。この30万8,000円のほうはチラシ等になりますので、こういうことをやりますというのを。ちゃんとしたチラシは、もう既にプレミアム商品券、今の段階で作ってますので、今回は各家庭のほうに、各戸でちゃんと分かりやすいようなチラシを作っていこうと思っておりますので、その金額です。

商品券等につきましては、前回と同じように、やっぱりきちっと偽造防止といえますか、きらきらする線とかもつけたり、バーコードなんかもつけたりしてやっていこうと思っております。以上です。

○委員（森垣 康平） すみません、ありがとうございます。

○分科会長（清水 寛） ほかございますか。

じゃあ、僕のほうからちょっと1点、分かればなんですけども、今現在の、いわゆるプレミアム商品券の、何ていうんですか、発行率みたいなのはどのぐらいか分かりますか。

はい。

○環境経済課長（富岡 隆） 毎月10日締めでしておりますので、直近のところは9月20日現在ということですのでよろしくお願ひします。

今、9月20日現在で、郵便局で販売されたのが4万8,502セット。（「4万8,000」と呼ぶ者あり）4万8,502セットです。全部で12万セットですので、販売率は約40%となっております。以上です。

○分科会長（清水 寛） そうしたら、今までの過去の経験上というの踏まえてでいいんですけども、どのぐらいの発行率を見込んでおられますか。

はい、富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 今発行している、今のプレミアム商品券ですか。

○分科会長（清水 寛） はい。

○環境経済課長（富岡 隆） 過去のやつは使える店舗が限定されていたようなこともありましたので、全体的に半分いっていない感じがありましたけれども、最近、コロナの関係でやりましたやつにつきましては、販売したところの、この前、8万セッ

トして8万セット売れてますので、ほぼ全部売れてるかなと思っております。今回は全ての多くの人に買ってもらえるように、いつもよりもたくさん、全市民の方の8割に相当する12万セットを印刷しておりますので、それがちょっと多いのか、まだ足りないのかっていうのは、もう少し販売の様子を見てたらというふうに思っておりますけれども、いろんな事情もあって買われないということを選択される方もありますので、8割ぐらいがちょうどいいのかなというふうに今思ってるところであります。以上です。

○分科会長（清水 寛） そしたら、ちょっとそれに関連して2点ぐらいあるんですけども、まず、今回はそれぞれの家庭のほうに引換券を送ってるということもありますから、今回、各家庭に、要は簡易書留で送られる、文書は豊岡市のほうで作ることでもあったんで、やはりそれは、今、手元にあるのを忘れてられないですかっていうことを周知してほしいっていうことが1点。

それから、もしその引換券をなくしておられる場合の手だてに対しても、何かちょっと補足があってもいいのかなと思うんですが、今回それが再発行があるかどうかということも併せて、実はお答えしてもらえたらと思うんですけど。

はい、富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 新しく各戸にお配りするものにつきましては、現在の商品券の留意事項も併せて記載していきたいなというふうに思っております。

それから、商品券の、商品券といいますか……。

○分科会長（清水 寛） 引換券。

○環境経済課長（富岡 隆） 引換券の再発行ですけども、現在も毎日少しずつ、なくしちゃったということがありまして、お問合せがありますので、漏れなく再発行のほうはさせていただいております。以上です。

○分科会長（清水 寛） ありがとうございます。

ほか、そしたら。

須山委員。

○委員（須山 泰一） すみません、何度も。事業者が商品券を受け取って、換金するにはどれぐらい手間がかかるか教えていただきたいです。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 事業者の方につきましては、商品券をそれぞれ取扱金融機関、但馬銀行か但馬信用金庫かにお持ちいただいて、それで各金融機関のほうで枚数を確認した上で、委託先の商工会議所に持って行かれて、商工会議所から各個店に振込する振込伝票を切ってもらってということで、現在のやつとしては、月2回、各商店にお振込するような、そんな事務手続でやっております。以上です。

○委員（須山 泰一） ありがとうございます。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

須山委員。

○委員（須山 泰一） 聞いたのは、それがちょっとすぐに換金が難しいって聞いて、まだその募集店に応募してないという声が聞いたんで、ちょっとお聞きしました。はい、分かりました。

○分科会長（清水 寛） ほか、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） そうしましたら、質疑を打ち切ります。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） 異議なしと認めます。よって、第95号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で当分科会に分担されました議案の審査は終了しました。

この際、当局の皆さん方から、特にご発言はございませんか。

特にないようでしたら、ここで退席していただいて結構です。ご苦労さまでした。

暫時休憩します。

午前10時55分休憩

午前10時57分再開

○分科会長（清水 寛） では、会議を再開します。

それでは、本日審査いたしました第95号議案、令和4年度豊岡市一般会計補正予算（第7号）について、分科会審査における意見、要望について、ご発言があればお願いします。

暫時休憩します。

午前10時58分休憩

午前11時00分再開

○分科会長（清水 寛） 会議を再開します。

そしたら、特に意見、要望がないということですので、基本的にはそのようにさせていただきます。

その他、委員の皆さん方から、特にご発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） それでは、以上をもちまして建設経済分科会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前11時01分閉会
